

# まちの話題

## 市応援で熱い声援 トヨタ紡織九州の地元戦



日本ハンドボールリーグで上位争いをしている地元チーム、トヨタ紡織九州「レッドトルネード」のホーム開幕戦が、11月1日に神埼中央公園体育館で開かれました。

市では、この日を「市民応援デー」として市民に観戦を呼びかけました。対戦相手は、上位争いを演じている大崎電気。結果は28-26で惜しくも敗れましたが、サポーターや市民約1,000人が選手に熱い声援を送りました。

サポーター大使の松本市長は、試合に先立ち「トヨタ紡織九州にぜひ勝ってもらいたいが大崎電気も頑張ってもらいたい。いい試合を期待します」と激励。記念品として両チームの監督に市の特産品を手渡しました。

試合は前半、レッドトルネードの持ち味の堅い守りと速攻がさえ、17-12と大崎電気をリード、応援席を沸かせました。しかし、後半に入って攻撃のリズムを欠き、相手のガードに阻まれ得点が伸びません。主力選手が負傷退場する不運もあり、逆転負けとなりました。

応援の市民からは「残念」「粘って逃げ切りたかった」などの声が聞かれましたが、大接戦となった展開に、ゲームの面白さを堪能された様子でした。また、この試合の前には女子リーグのソニーセミコンダクタ九州とHC名古屋の対戦があり、両チームにも特産品が贈られました。

## 神埼産「ん」で焼酎造り

市では神埼ブランドの「菱焼酎」造りに取り組んでいます。焼酎の原料となる菱の製粉作業が終わり、醸造を行う田中酒造（佐賀市）で11月14日に納品が行われました。

原料となる菱は、9月から11月にかけて市内クリークから採取したもので、総重量は、約115キログラム。その後、乾燥、皮むき、製粉の工程を経て、最終的には26・2キログラムの焼酎の原料となりました。これで4合瓶に換算して50本分の焼酎が出来るということです。



松本市長から袋詰の粉を受け取った田中傳也社長は、「菱のフルーティーな個性を引き出したい」と話されました。

今後、仕込みに入り、順調に行けば来月中旬ごろには試飲できる段階になり、来年秋季の蔵出しを目指します。

## ほうれん草収穫体験

11月4日、脊振小学校の子どもたちが、一番ヶ瀬克己さん（脊振町）のハウスでほうれん草の収穫体験を行いました。

今回は、3年生以上の78人が参加し、JAの方から収穫の仕方方を教えてもらった後、早速収穫にとりかかりました。

「今日の夜ご飯で料理してもらおう」と言いながら、参加できなかった1・2年生の分も収穫した。

## 園児が芋掘り体験

ちよだ保育園では、10月31日に「祖父母ふれあい交流会」が行われ、3歳から5歳の園児と祖父母や保護者が参加し、園内



穫っていました。天気にも恵まれ、楽しい収穫体験学習となりました。



にあるふれあい農園で、芋ほりや野菜の植え付けを体験しました。

長靴をはいて、農園に入った園児たちは、祖父母たちの手助けを受けながら、さっそく芋掘りに挑戦。中には園児の顔が隠れるほどの大きなものもあり、掘り上げた芋を得意げに掲げて見せる姿も見られました。

続いてプロッコリーや白菜など冬野菜の苗や、花の球根を植付け、秋晴れの日を土に親しみました。

園には約500平方メートルの農園があり、野菜や花を栽培していて、収穫した野菜は給食の材料などに利用されています。

## 芸術、文化に親しむ

神崎市文化連盟の文化祭が、神崎、千代田の両町で開かれ、多くの市民が芸術・文化の秋に親しみました。なお、脊振森林の里フェスティバルは、新型インフルエーザの影響で残念ながら中止となりました。

### ◆千代田町文化祭

10月30日から11月1日までの3日間、第30回千代田町文化祭が神崎市千代田文化会館「はんぎーホール」と千代田町保健センターで開かれました。



展示場の保健センターでは、生け花や絵画、写真、手芸など大人の作品のほか、子どもたちの絵や書道作品も合わせ約640点が展示され、家族連れで訪れる姿が目につきました。会場の一角では、切り絵の実演も行われ、鮮やかな彩りと細かい作業が注目を集めていました。

1日には「はんぎーホール」でステージ公演が行われ、コーラスや舞踊、社交ダンスなど18団体が出演し、日頃の成果を披露しました。また、高志狂言保存会や小学生による狂言も演じられ、客席から拍手が送られました。



### ◆神崎町文化祭

10月31日から11月3日まで、第24回神崎町文化祭が神崎市中央公民館で開かれました。

今回は、1日に音楽愛好家によるミュージックフェスタが初めて行われ、7グループがコーラスや演奏などを披露しました。季節柄、秋を題材にした歌など親しみやすい曲が多く、会場は和やかな雰囲気になりました。



3日は記念式典とステージイベントが行われ、歌や舞踊、詩吟、太鼓演奏など54団体・個人が出演し、多彩な催しが繰り広げられました。

また期間中、会議室やロビーを会場とした展示場では、絵画や書陶芸、押し花など多くの力作が並び、来場者の目を楽しませました。このほか絵手紙の体験コーナーでは、出展している「根っこ」の指導を受け、絵筆をとる人の姿が見られました。



## 脊振小児童が生け花展

脊振小児童の生け花作品が、脊振総合支所に11月5日から一週間展示され、来訪者の目を楽しませました。

これは、「かじかの里いけばな教室」で学んでいる21人が出展したもので、カーネーションやガーベラなどを花材に使い、子ども作品とは思えないほどの出来栄でした。

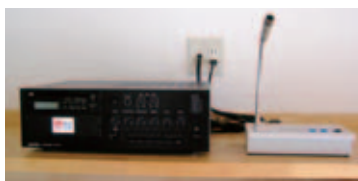
生け花展は今回が3回目、これまで出展していた町の文化祭が中止されたことから、総合支所での開催となりました。



指導にあたる廣瀨千鶴子さんは「あまり手を加えず、子どもたちの創造性を大切にしているのが、楽しい作品がそろいました」と話されていました。

## コミュニティ助成事業 詫田西分地区で事業完了

平成21年度のコミュニティ助成事業で採択を受けている4団体のうち、詫田西分地区の一般「コミュニティ助成」事業が完了しました。



▲屋外放送機器

成事業で採択を受けている4団体のうち、詫田西分地区の一般「コミュニティ助成」事業が完了しました。

この事業は、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報事業費として受け入れられる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動の助成を行うことにより、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行うことを目的に実施されています。



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。



## マーチングバンド 全国大会へ

第37回マーチングバンド・パトントワーリング全国大会九州予選が北九州市で行われ、千代田西部小学校が金賞を受賞しました。

11月10日、神崎市へ受賞報告に訪れたメンバー代表の中野翼くんと末次華奈さんは、「精一杯練習して、全国大会で観衆を感動させる演奏を目指します」と市長に抱負を述べました。

## 狂言クラブが県教育表彰

千代田中部小学校の高志狂言クラブが、県教育委員会表彰を受けました。児童生徒関係では唯一の受賞です。



全国大会は、12月13日に埼玉県のさいたまスーパーアリーナで開催され、千代田西部小学校は九州代表として出場します。

クラブは、地元につながる県重要無形民俗文化財の高志狂言を受け継いでいこうと、高志狂言保存会の指導を受け、平成12年に発足しました。

現在、メンバーは4年生から6年生までの9人。夏休みから10月末まで、週に3、4回の練習に励んでいます。演目は「部須（ぶす）」。高志神社の秋祭りや千代田町文化祭などで成果を披露しています。市長に受賞を報告した子どもたちは、「受賞は市にとっても誇り。これからも夢に向かって進んでください」と激励を受け、晴れやかな表情でした。

## 豆力士が熱戦展開

◆榎田宮子ども相撲大会  
第4回榎田宮子ども相撲大会が10月10日に神埼町の榎田宮相撲場で行われました。

大会には幼児から小学生高学年まで24人が参加。力いっぱい熱戦を展開しました。

中には土俵際でもつれ、取り直しになる好勝負もあり、応援席から歓声が沸いていました。優勝者は次のとおりです。

【個人戦】（敬称略）  
幼児の部

坂井 裕八（ちとせ幼稚園）

小学低学年の部

大田 哲也（仁比山小）

小学高学年の部

家永孝紀（千代田東部小）

【小学校団体戦】

千代田東部小B



◆次郎の里少年相撲大会  
10月25日、第4回神埼市次郎の里少年相撲大会が、千代田町の次郎の森公園相撲場で行われ、幼児から小学生まで91人が参加しました。

当日は、あいにく肌寒い天気となりましたが、試合が始まると子どもたちの奮闘に会場は大興奮。「まわれ、まわれ!」「頑張れ!」といった声援にこたえるかのように豆力士たちは練習の成果を随所に発揮していました。優勝者は次のとおりです。

【個人戦】（敬称略）  
幼児の部

東 武史（神埼幼稚園）

小学1年生の部

植木 大空（千代田西部小）

小学2年生の部

陣内 孝誠（西郷小）

小学3年生の部

末次 吹（千代田東部小）

小学4年生の部

家永 孝紀（千代田東部小）

小学5年生の部

大坪 心椰（千代田東部小）

小学6年生の部

向井 聡志（千代田東部小）

【団体戦】

千代田東部小A

## 「次郎物語」読書感想文コンクール「次郎の家」下村輝人先生メッセ大会結果

千代田町崎村で生まれた「次郎物語」の作者、下村湖人を偲び、毎年、読書感想文コンクールとスケッチ大会が行われています。

上位成績者は、次のとおりです。（敬称略）

次郎物語読書感想文コンクール

〈最優秀賞〉

・馬場 康平（千代田中）

・佐藤なつき（千代田東部小）

・田中 里奈（千代田中部小）

・香田 奈那（千代田西部小）

〈優秀賞〉

・森田 智樹（千代田中）

・永原 綾真（千代田東部小）

・遠藤 秀幸（千代田中部小）

・末次 華奈（千代田西部小）

次郎の家スケッチ大会

〈最優秀賞〉

・田中 友梨（神埼中）

〈優秀賞〉

・久富 友季（千代田東部小）

・三澤 耕輔（一般・佐賀市在住）



## 文化財を活性化の拠点に 保存へ観光協会が寄付

大正期の建造物で国の登録文化財指定の福成齒科医院跡（旧古賀銀行神埼支店）を保存しようとして、神埼町観光協会から多額の寄付をいただきました。

寄付は10月27日に、神埼町観光協会の島富士男会長、榎本純一、野口守両副会長の3人が市長を訪問して目録を手渡されました。



旧古賀銀行神埼支店として建てられた福成齒科医院跡は、櫛田宮門前に位置し、大正期の神埼町の歴史と繁栄を物語る重要な建造物です。銀行支店当時の内装や間取りも良好に残されており、平成13年10月12日に国の登録文化財として登録されました。



周辺の景観保全に寄与する建造物として、さらに市の中心部の再生、活性化を進める重要な役割を果たす建造物として期待は大きく、市としても市民総ぐるみの文化財保存の機運醸成と観光資源やまちづくりの拠点として活用していく方針です。

## 市民交流祭益金など寄付

### 市商工会女性部

神埼市商工会女性部から「将来を担う子どもたちのために役立てて」と、元氣かんざき市民交流祭に出店した際の収益金を市に寄付していただきました。寄付されたのは、女性部員手作りのコサージュと喫茶コーナーで販売したケーキ、コー

## 永年の功績をたたえ

### 秋の叙勲

【旭日双光章】



石井 輝男さん(千代田町)  
県交通安全協会副会長  
神埼地区交通安全協会会長

### 危険業務従事者叙勲

【瑞宝双光章】



古賀征治さん(千代田町)  
元県警部

ヒの収益金です。市では趣旨に沿うよう有効活用していきます。



## 第62回県民体育大会

10月17日、18日、武雄市・杵島郡及び佐賀市で、第62回県民体育大会が行われ、神埼市は市の部において総合8位でした。市内から17競技に約390人が参加し、緊張感漂う中、とても見応えのある試合となりました。個人競技の水泳競技で優勝された2人は、いずれも大会新記録での優勝となりました。

### 【団体競技】

- 優勝
- ・軟式野球競技一般男子A
- ・ゲートボール競技Aチーム
- 準優勝
- ・バレーボール競技一般女子
- ・剣道競技一般男子Aチーム
- ・ゲートボール競技Bチーム
- ・ソフトボール競技一般男子B

## 卒業生がテント寄贈

仁比山小学校を昭和19年3月に創立された卒業生（手塚国俊代表幹事）が、テント2張りを10月26日、母校に寄贈されました。同窓会の中で、母校になにか贈呈しようという話が決まったそうです。体育大会などの学校行事で大切に使用していただきます。



- 三位
- ・軟式野球競技一般男子B
- ・ソフトボール競技一般男子A
- ・ソフトボール競技一般女子
- ・相撲競技一般男子

### 【個人競技】（敬称略）

- ◆水泳競技
- 優勝
- ・50～59歳25m自由形
- ・50～59歳25mバタフライ
- ・松永正則（神埼町）
- ・29歳以下25m平泳ぎ
- ・中原祐子（神埼町）
- 準優勝
- ・29歳以下50m自由形
- ・古賀広一（神埼町）
- ・29歳以下25m平泳ぎ
- ・中原めぐみ（神埼町）
- 三位
- ・29歳以下25m背泳ぎ
- ・中原麻美（神埼町）



(表1) 自己負担限度額 (前年8月～7月の1年間の合計)

所得区分	75歳以上	70～74歳	70歳未満
	後期+介護	医療+介護	医療+介護
現役並み所得者 [上位所得者]	67万円 (89万円)	67万円 (89万円)	126万円 (168万円)
一般	56万円 (75万円)	56万円 (75万円)	67万円 (89万円)
低所得者Ⅱ	31万円 (41万円)	31万円 (41万円)	34万円 (45万円)
低所得者Ⅰ	19万円 (25万円)	19万円 (25万円)	34万円 (45万円)

( )内は平成20年4月から平成21年7月までの16ヶ月間の自己負担限度額です。

平成20年4月から平成21年7月までの期間で算出した支給額よりも平成20年8月から平成21年7月までの期間で算出した支給額の方が多くなる場合は、12ヶ月分の自己負担額で算出した額を支給します。

限度額を超えた額が500円を超えない場合は、支給されません。医療保険における自己負担額は保険適用のものに限ります。

## 高額介護合算療養費の支給が始まります

同一世帯で、一年間に医療保険(国民健康保険、長寿医療制度、被用者保険など)と介護保険の両方に自己負担があり、月単位での高額療養費及び高額介護(予防)サービス費の支給を受けてもなお残る負担を合算した額が、定められた自己負担限度額(表1)を超えたときには、その差額が高額介護合算療養費として支給されます。

### 対象期間

前年8月1日から7月31日までの年額で計算されます。初年度のみ、平成20年4月から平成21年7月までの16ヶ月間となります。

### 申請手続き

支給基準日(7月31日)に入っていた医療保険窓口で申請します。

転入・転出などで市町が変わった場合や途中で後期高齢者医療に加入したなど、医療保険が変わった場合は、それぞれの窓口で申請します。

高額介護合算療養費は、事由発生日から2年を経過すると時効となり、申請できませんのでご注意ください。

## 市の医療保険(国民健康保険・後期高齢者医療)及び介護保険に加入されている方へ

◆介護保険も含めて医療保険窓口に一括申請できます。

支給基準日の7月31日時点で市の医療保険に加入し、介護保険も市に加入している場合は、介護保険窓口での手続きは不要です。

直接、市の医療保険窓口(市役所市民課、各総合支所市民福祉課)に申請してください。

◆支給対象者には、申請のお知らせを送付します。

支給基準日の7月31日時点で市の医療保険に加入している方で支給の対象の方には、12月中に申請のお知らせを送付する予定です。

ただし、対象期間内に複数の医療保険に加入されていた場合や市の介護保険の加入期間がない場合などは、お知らせできないこともあります。



不明な点は、お問い合わせください。

◎受付・問い合わせ先

医療保険(国民健康保険・後期高齢者医療)について  
神崎市役所 市民課  
☎3710115

介護保険について  
神崎市役所 高齢障害課  
☎3710111

## 神崎市の地域資源調査を実施しています

神崎市では、市内に所在する神社仏閣や石仏等の石造物・巨木・自然景観・伝承・祭り行事など歴史文化遺産の現状と詳細な内容を知るための調査を実施しています。

地域の皆さまには、何かとご迷惑をおかけしますが、ご協力と情報提供をお願いします。

○調査期間

平成22年2月末まで

○調査対象

市内全域(脊振・神崎・千代田)

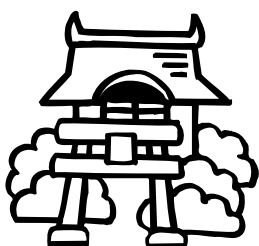
○調査方法

調査員が地域に出向き、調査をさせていただきます。

調査者が資料をお借りしたり、持ち出したりすることは、一切ありません。

◎問い合わせ先

神崎市役所 市長公室  
☎3710102



介護予防教室

「若返り、いきいき健康講座」参加者募集!!

自分らしく、若々しく、いきいきと毎日を過ごせるよう運動や食事、口腔ケア等の健康講座を開催します。

全5回の講座で、市内の2会場それぞれ行います。

○対象者

65歳以上の方で介護予防に関心がある方  
介護保険の認定を受けられていない方

○定員

各会場 20人(先着順)

○申込締切日 12月15日(火)

○参加費

内容により、材料費がかかる場合があります。

◎申込・問い合わせ先

神崎市役所 高齢障害課

(おたつしや本舗神埼)

☎ 37-0111

◆神埼会場…神崎市中央公民館

期日	内容	講師
1/14 (木)	いきいき体操 食事のバランス	運動指導士 栄養士
1/20 (水)	認知症予防について いきいき体操	地域包括支援センター 運動指導士
1/27 (水)	いきいき体操 食事の食べ方、簡単調理	運動指導士 栄養士
2/5 (金)	健康講和 お口元気に	医師 歯科衛生士
2/17 (水)	いきいき体操 歯の健康について	運動指導士 歯科医師

◆千代田会場…千代田町保健センター

期日	内容	講師
1/13 (水)	お口元気に いきいき体操	歯科衛生士 運動指導士
1/21 (木)	認知症予防について いきいき体操	地域包括支援センター 運動指導士
1/28 (木)	いきいき体操 食事のバランス	運動指導士 栄養士
2/4 (木)	いきいき体操 食事の食べ方、簡単調理	運動指導士 栄養士
2/18 (木)	健康講話 歯の健康について	医師 歯科医師

いずれも午後2時から2時間程度

投票日は、来年4月18日に!

～神崎市長・市議会議員選挙～

平成22年4月22日に任期が満了する神崎市長及び神崎市議会議員の選挙期日について、11月9日に開催された市選挙管理委員会で次のとおり決定されました。

○告示日

平成22年4月11日(日)

○投票日

平成22年4月18日(日)

市議会議員の定数は、24人。前回の合併選挙のような選挙区は設けず、全市1つの選挙区で選挙を行うこととなります。

◎問い合わせ先

神崎市選挙管理委員会

(神崎市役所 総務課内) ☎ 37-0100

12月4日から10日は「人権週間」

生命の尊さ・大切さや、自己がかけがえない存在であると同時に他人もかけがえない存在であること、他人との共生・共感の大切さを真に実感し、「思いやりの心」と「かけがえない命」を大切にすることを考えてみましょう。

～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

みんなで築こう 人権の世紀

神崎市には、法務大臣から委嘱された人権擁護委員が8人いらつしやいます。



人権擁護委員は、日頃から地域の中で人権擁護に関する活動を積極的に行い、市の各庁舎で、人権擁護委員による相談所を開設しています。日程は「市報かんざき」の相談のページでご確認ください。相談は無料で秘密は守られます。お気軽にご相談ください。◎問い合わせ先 神崎市役所 市長公室 ☎ 37-00088

有料広告

曇り たたみ ふすま 障子

即日仕上げ出来ます!!

見本を持って伺います

納富商店

☎ 0120-53-2883

神崎市神崎町田道ヶ里2354-10 (駅通り)

空き巣にご用心!

～大切な財産を守るために～

玄関や窓には、ツーロックで施錠をしましょう

短時間の外出でもこまめに施錠をしましょう

侵入経路となる死角をなくしましょう

普段から近所づきあいを大切にして、近くに不審者がいたら一声かけましょう